

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	松本看護大学
設置者名	学校法人松本学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
看護学部	看護学科	夜・通信			153	153	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.matsutan.jp/college/report

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	松本看護大学
設置者名	学校法人松本学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.matsutan.jp/college/report>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	市町村 議員	2025.6.5 ~ 2026.5.28	産学官・社会連携関係
非常勤	専門学校 校長	2025.6.5 ~ 2026.5.28	教学関係
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	松本看護大学
設置者名	学校法人松本学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【授業計画書(シラバス)の作成過程】 教務委員会が主となり、記入項目の検討を行ったのち、授業担当者へ執筆の依頼を行う。原稿集約後は、教務委員会および事務局担当者が点検を行う。</p> <p>【授業計画書(シラバス)の作成・公表時期】 毎年度末までに作成し、4月以降に、ホームページ上で公表を行うこととしている。</p> <p>【シラバスに記載する主要内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業概要(教科目名、単位数、時間数、必修選択区分、授業形態、開講時期) ・科目概要、到達目標、DPとの対応 ・成績評価方法(評価項目、配分、評価基準) ・フィードバック ・教育内容(事前学習の内容と時間、事後学習の内容と時間、授業内容(各回の講義・演習内容と時間、担当者)) ・履修要件 ・オフィスアワー ・実務経験と授業科目との関連性 	
授業計画書の公表方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ https://www.matsutan.jp/college/report ・ 刊行物(シラバス) [入手方法: 本学事務局]
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学生の学修成果獲得を厳格かつ適正に評価するため、授業科目ごと授業計画書(シラバス)に成績評価方基準を明示している。担当教員はこの成績評価方法に沿い、成績評価は本学の履修規定(第10条)に基づいて、試験結果を評価し、適正に単位認定を行っている。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

履修科目の修得レベルを示す基準として、GPA 制度に基づいた成績評価を行っている。GPA は学業成績票に記載して学生個人に開示することで、学生が履修計画を立てる際の参考としたり、自身の学習状況を把握し、学習意欲の向上と学修目標の設定に資するようにはしたりすることとしている。

【成績評価基準】

評価名	区分	評点	GP	評価基準
秀 S	合格	100-90	4.0	当該科目の目的・内容をほぼ完全に修得し、応用力が付いたと認められる
優 A	合格	89-80	3.0	当該科目の目的・内容を十分に理解し、修得したと認められる
良 B	合格	79-70	2.0	当該科目の目的・内容の基幹部分は理解し、修得したと認められる
可 C	合格	69-60	1.0	当該科目の目的・内容の最低限の理解は得られたと認められる
不可 D	不合格	59-0	0.0	当該科目の目的・内容の理解には及ばない
E	未受験			

【GPA 算出方法】

学期 GPA = $\frac{\text{（当該学期の履修科目の GP} \times \text{当該科目の単位数）の総和}}{\text{当該学期の履修登録した履修科目の総単位数（不合格の単位数を含む）}}$

※学期 GPA、学年 GPA、累積 GPA の 3 種類がある

【公表】

・成績評価基準及び GPA 算出方法は学生便覧に、成績評価方法はシラバスに記載し、ホームページ上で公表している。

【成績評価の適切な実施に係る取組】

・成績評価については、上記のようにあらかじめ設定した成績評価基準、GPA 算出方法により GPA の数値を算出し、適切に実施している。

客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.matsutan.jp/college/report ・刊行物（学生便覧）〔入手方法：本学事務局〕
------------------	---

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

長野県・松本市および周辺地域の行政や自治体の関係者又は施設長や保健医療福祉施設の関係者、高等学校関係者等に聞き取り調査を行ない、将来を見据えた本学への期待と看護教育のあり方への示唆を得た。それらを基に協議の結果、松本短期大学の 50 年間積み重ねた信濃教育の理念を継承し、社会が求める質の高い看護職の育成、地域で活躍する志をもった看護職の育成を目的とし、また地域に根差した看護の智を探究する大学として、松本看護大学看護学部を開設するに至った。松本看護大学は、所定の卒業要件単位を修得し、「学位授与方針」に定める能力、資質を備えたうえで、看護学の知識・技術を用いて社会に貢献できる学生に対し、卒業を認定し学士（看護学）の学位を授与している。この「学位授与の方針」は、「入学者受け入れの方針」「カリキュラム編成方針」とともにホームページ上で公開することとしている。

卒業認定、学位の授与に関しては、卒業の要件（教養科目 19 単位以上、連携科目 6 単位以上、専門基礎科目 25 単位以上、専門科目 80 単位以上 合計 130 単位以上）の確認や学位授与方針を確認し、学長は、教授会の意見を聴き、卒業を認定している。

卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.matsutan.jp/college/report ・刊行物（学生便覧）〔入手方法：本学事務局〕
------------------	---

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	松本看護大学
設置者名	学校法人松本学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.matsutan.jp/college/report
収支計算書又は損益計算書	https://www.matsutan.jp/college/report
財産目録	https://www.matsutan.jp/college/report
事業報告書	https://www.matsutan.jp/college/report
監事による監査報告(書)	https://www.matsutan.jp/college/report

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.mcon.ac.jp/disclosure/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 看護学部看護学科
教育研究上の目的 (公表方法: https://www.matsutan.jp/college/report)
<p>(概要)</p> <p>豊かな人間性を備え、生命の尊厳と人権の尊重を基礎とした看護実践能力を有した人材を育成し、地域社会における保健医療福祉の向上及び看護の発展に貢献できる看護職者の養成することを目的とする。</p>
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法: https://www.matsutan.jp/college/report)
<p>(概要)</p> <p>所定の卒業要件単位を修得し、次のような能力、資質を備えたうえで、看護学の知識・技術を用いて社会に貢献できる学生に対し、卒業を認定し、学士(看護学)の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 多様な人々との関係を成立・発展できる。 <ul style="list-style-type: none"> 人間性豊かで生命の尊厳に基づく倫理観を有し、多様な人々との関係を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を有する。 主体的に行動することができる。 <ul style="list-style-type: none"> 自立した社会人として主体的かつ意欲的に行動することができる 多職種と連携し、地域の保健医療福祉の向上に貢献することができる。 <ul style="list-style-type: none"> 救急・災害看護学、地域・在宅看護学、公衆衛生看護学の選択分野を学修し、保健医療福祉の関連分野の人々と連携・協働し、地域の保健医療福祉の充実と発展に貢献できる基礎的な能力を身につけている 課題を発見し、課題解決を図ることができる。 <ul style="list-style-type: none"> 看護現場における課題を発見し、その解決のための方法を探求し、その成果を実践することができる 看護の発展に寄与できる自己研鑽力と基礎的研究能力を有する。 看護の知識と看護実践力を有する。 <ul style="list-style-type: none"> 地域の特性や対象となる人々を理解し、尊重し、多様な人々の看護に必要な知識を身に付け、科学的根拠に基づき良質で安全な看護を実践する能力を有する 地域社会の多様な健康課題に対応できる力を有する。(保健師課程) <ul style="list-style-type: none"> 科学的根拠と文化的感受性をもって地域社会の健康課題を把握・分析・診断する能力を有する。 地域や集団、組織に対し支援・協働・施策化を通じ、人々の健康増進能力を高め、健康課題を解決するための基盤となる能力を有する。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: https://www.matsutan.jp/college/report)
<p>(概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> 「多様な人々との関係を成立・発展できる能力」を身につけるための科目を教養科目、専門科目に配置する。 「主体的行動力」を身につけるための科目を教養科目、連携科目、専門科目に配置する。 「多職種と連携し、地域の保健医療福祉の向上に貢献する力」を身につけるための科目を教養科目、連携科目、専門基礎科目、専門科目に配置する。 「課題発見能力と課題解決能力」を身につけるための科目を連携科目、専門科目に配置する。

<p>5) 「看護の知識と看護実践力」を身につけるための科目を教養科目、専門基礎科目、専門科目に配置する。</p> <p>6) 「地域や、集団・組織の多様な健康課題に対応できる力」を身につけるための科目を教養科目、専門基礎科目、専門科目に配置する。</p> <p>7) 授業形態は教育の目的に応じて講義形式、演習形式、実習形式の3つに区分し、下記の方針に従った教育方法を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 知識の理解を目的とする教育内容については、講義形式をとる。 ・ 態度・志向性及び技術や技能の修得を目的とする教育内容については、演習形式をとる。 ・ 理論と実践の統合を図り、臨地の場において理論的知識や技術を看護実践に応用展開するための能力を身につけることを目的とする教育内容については、実習形式をとる。
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：https://www.matsutan.jp/college/report）</p> <p>（概要）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 入学後の大学教育に必要な基礎学力を有している人（知識・技術） 2) 看護・保健・医療・福祉分野に広く関心のある人（関心・意欲） 3) 人間の生命を大切に思い、誠実な態度で他者と関わることができる人（多様性・協働性） 4) 看護学を主体的・創造的に学ぶ意欲を有している人（主体性・関心・意欲） 5) 人々と良い関係を持ち、自分の考えを的確に表現する力が備わっている人（多様性・協働性・思考力・判断力・表現力） 6) 主体的に考え行動できる人（主体性） 7) 大学で学んだ看護学を地域社会の為に生かそうという志のある人（意欲）

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法： https://www.matsutan.jp/college/report

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
看護学部看護学科	—	11人	6人	3人	2人	4人	28人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員				計	
0人		25人				26人	
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://www.matsutan.jp/college/report					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
看護学部看護 学科	70人	72人	102.9%	280人	275人	98.2%	-人	0人
合計	70人	72人	102.9%	280人	275人	98.2%	-人	0人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
看護学部看護 学科	72人 (100%)	2人 (2.8%)	69人 (95.8%)	1人 (1.4%)
合計	72人 (100%)	2人 (2.8%)	69人 (95.8%)	1人 (1.4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画については、毎年度末までに作成し、4月以降に、ホームページ上で公表を行うこととしている。シラバスに記載する主要な内容を以下に記載する。

- ・ 授業概要 (教科目名、単位数、時間数、必修選択区分、授業形態、開講時期)
- ・ 科目概要、到達目標、DP との対応
- ・ 成績評価方法 (評価項目、配分、評価基準)
- ・ フィードバック

<ul style="list-style-type: none"> ・教育内容（事前学習の内容と時間、事後学習の内容と時間、授業内容（各回の講義・演習内容と時間、担当者）） ・履修要件 ・オフィスアワー ・実務経験と授業科目との関連性
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
<p>学生の学修成果獲得を厳格かつ適正に評価するため、授業科目ごと授業計画書（シラバス）に成績評価方基準を明示している。担当教員はこの成績評価方法に沿い、成績評価は本学の履修規定（第10条）に基づいて、試験結果を評価し、適正に単位認定を行っている。</p> <p>卒業認定、学位の授与に関しては、卒業の要件（教養科目19単位以上、連携科目6単位以上、専門基礎科目25単位以上、専門科目80単位以上 合計130単位以上）の確認や学位授与方針を確認し、学長は、教授会の意見を聴き、卒業を認定している。</p>				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
看護学部	看護学科	130単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： https://www.matsutan.jp/college/report 刊行物（学生便覧）〔入手方法：本学事務局〕
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
看護学部	看護学科	880,000円	200,000円	510,000円	2年目以降は、その他の徴収額が660,000円に変更。

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要)
<p>本学では、以下の取り組みを通して、学生の修学に係る支援を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の修学並びに学生生活に関して、面談や相談、支援を行い、本学教育の充実をはかるために本学ではチューター制度をとっている。相互の交流を通じて、より豊かな人間性の創造につとめ、有意義な学生生活を実現するためのもの。学期初めに少人数を原則とした学生グループを編成し、専任教員のうちから担当する教員を選定し、チューターとしている。また、学修に関する学生の質問や相談に応じるための時間として、オフィスアワーを設定している。 ・各種奨学金（例：日本学生支援機構、長野県看護職員修学資金、病院奨学金など）の案内について、学内説明会の開催等の実施やスマートフォンの連絡用アプリ、掲示等で通知している。日本学生支援機構の在学定期採用（一次採用）募集において、給付型奨学金を希望する者については、給付型奨学金を申込みすると同時に授業料延納願を事務局総務部に提出することにより、採用予定月の末日まで延納を認めるようにしている。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

- ・長野県内の求人票、インターンシップ案内等は看護学部の求人票案内掲示板に貼り、長野県外の求人案内は番号をつけ、病院一覧表をつくり、確認できるようにしている。予備のパンフレット等は看護学部の求人用案内掲示板付近に置き、自由に持っていけるようにしている。模擬面接や履歴書の書き方などの相談も受けている。
- ・進路等についてキャリアガイダンスを実施している。
- ・国家試験対策ガイダンス等を実施し、学生の進路選択に係る支援を行っている。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

- ・保健管理センターを設置し、学生が心身ともに健康で充実した学生生活を送れるようサポートしている。年度当初のオリエンテーション時に、健康管理についての指導や健康診断による学生の健康状況の把握に努めている。
- ・障害のある学生への支援として、他の学生と同じ環境で学生生活を送ることができるように、施設設備、講義保障、学校生活等についての相談に応じ、話し合い、支援をすすめている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法 : <https://www.matsutan.jp/college/report>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。